

科目名	法学			担当教員	井上 斌		
学年	全学科・５年	学期	通期	履修条件	選択	単位数	２
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	07 G05_20310		
学習目標	法は社会生活の大切な社会規範の一つである。まず、法についての一般的な内容を理解する。そして、憲法、民法、刑法など重要な法律について理解する。さらに国際法についても学ぶ。人権、財産権など実際の判例や事例を参考にして、自ら物事を法的に考える力を身に付けることを目標とする。						
進め方	教科書を中心として講義形式で進める。必要に応じて、判例や事例を学ぶ。また、実社会の出来事を法的に考えていく。判例や事例については、自分なりの感想を持てるようにする。内容が多岐にわたるので、要領よく学習を進めることが大切である。						
履修要件							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.法とは何か（２） 2.法と道徳（２） 3.法の目的（２） 4.裁判制度（２） 5.法の解釈（２） 6.憲法の基本原理（２） 7.基本的人権（４）			法について、正義などの一般的な内容を理解する A3:1			
	8.前期中間試験（０） 9.統治機構（４）			日本国憲法の基本原理、基本的人権及び統治機構について理解する A3:3			
	10.財産法・取引法（２） 11.物権と債権（２） 12.契約（２） 13.不法行為（２） 14.家族と法（２） 15.親族・相続法（２）			民法の総則、物権、債権、親族、相続編を理解する A3:4			
	16.前期末試験（１） 17.犯罪と刑罰（２） 18.犯罪の成立要件（２） 19.刑事手続（２） 20.当事者主義（２） 21.公訴・公判（２） 22.雇用関係法（２） 23.労使関係法（２）			刑法、刑事訴訟法について理解する 労働三法、男女雇用機会均等法などを理解する A3:3			
	24.後期中間試験（０） 25.独占禁止法（２） 26.不公正な取引方法・私的独占の禁止（２） 27.知的財産と法（２） 28.特許権（２） 29.著作権（２） 30.国際法・国際私法（２） 31.国際取引法（２） 32.学年末試験（１）			独占禁止法について理解する A3:1 知的財産権について理解する A 3:1 国際社会と法について理解する A 3:3			
評価方法	定期試験、授業中の態度などを総合的に評価する						
関連科目	政治・経済						
教材	教科書：唐澤宏明著 「はじめて学ぶ法学」 三省堂						
備考							